

令和6年度事業計画書

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

当財団は令和3年度から令和7年度まで、川口総合文化センターの管理運営に係る指定管理者の指定を受け、優れた舞台芸術作品の提供や、市民の芸術文化活動の支援に関する取り組みを開館以来、継続的に実施している。さらに地域のコミュニティの核として、その醸成を促進し、賑わいを創出する事業を実施するほか、効率的な運営を図るため経営に関する改革にも取り組んでいる。

令和6年度においては、川口総合文化センターの大規模改修に伴う休館のため、川口市役所西川口駅前分室に仮設事務所を開設し、チケットの販売業務を実施するほか、主に川口市内の施設を利用して事業実施を行う。

【当財団独自の事業展開】

各種文化催事を企画・実施し、芸術文化の振興を図る事業を行うとともに、文化芸術及び地域コミュニティ活動の振興を図る事業を実施する。

【文化創造・育成事業の実施】

青少年による主体的な芸術文化活動を促進し、川口市の芸術文化を支える裾野を拡大することを目的に、平成27年7月の施設開館時に「川口少年少女ミュージカル団」を結成。現在は、小学3年生から大学生までの31名が在籍し、発表会等に向けて、週3回、演技、歌、ダンス、タップダンスの練習に励んでいる。

リリア休館中においても、川口市内の学校、公民館等の施設を活用し、活動を継続する。

【地域の核としての賑わいの創出と活性化】

川口駅前施設を利用したリリア休館中出張公演や、アウトリーチ事業、また市民参加型プログラムとしてワークショップ事業など、文化芸術団体の方々と連携した取り組みを行うことで、地域の核としての賑わいを創出する。

1 舞台芸術作品の提供等に関する事業

(1) 自主企画公演等の実施

財団が様々な芸術家及び芸術文化団体との協働により、創造的で質の高い芸術文化事業の提供を行う。

① 埼玉会館 （1事業1公演）

1月のニューイヤーコンサートは、リリア開館以前から川口市の主催により市民会館で実施されていた「川口市民音楽会」を継承するもので、オーケストラによる名曲プログラムを実施し、毎年好評を博している。今年度は、県内施設である埼玉会館に会場を移し実施する。

② フレンディア （5事業5公演）

リリア休館中出張公演と銘打ち、JR川口駅東口の川口駅前市民ホール「フレンディア」にて低廉な価格で気軽に楽しめるコンサート及びイベントを実施する。「徳永真一郎 ギター・リサイタル」はオルシュティン国際ギター・コンクール優勝ほか、多数のコンクール優勝歴を持つギター界若手のホープ、徳永真一郎による演奏で実施する。「琵琶と講談『怖い話』」は、夏の風物詩である「怪談」を琵琶の弾き語りと講談を楽しむ納涼企画として実施する。「小松亮太の川口タンゴ・カフェ」は、アルゼンチンタンゴ界の第一人者、バンドネオン奏者の小松亮太に、期待の新星、ギタリストの福井浩気による公演を実施する。「山下 伶 クロマチック・ハーモニカ コンサート」は、埼玉県出身のクロマチック・ハーモニカ奏者で、これまで数々のアーティストと協演を重ね、クラシック、ポップス、ジャズ、ラテン等、ジャンルを問わず活躍する山下 伶によるコンサートを実施する。「川口第九を歌う会～フレンディアで歌う～」は、毎年12月にリリアで開催され恒例となっている「リリア第九演奏会」に出演している、川口第九を歌う会のメンバーによるコンサートをピアノ伴奏で実施する。

③ 川口市立高校 （1事業1公演）

シリーズ「リリア ピアノサロン」の企画・構成も携わっている人気ピアニストの宮谷理香によるアウトリーチプログラム。生徒に向けた出張コンサートを実施する。

④ わかゆり学園 （1事業1公演）

市内出身・在住のアーティストによるアウトリーチプログラム。川口市心身障害福祉センター わかゆり学園へ赴き、入所者の方々に向けたコンサートを実施する。

⑤ サンテピア （1事業1公演）

川口少年少女ミュージカル団によるアウトリーチプログラム。高齢者総合福祉センター サンテピアの入所者の方々に向けた、ミニミュージカルなどのパフォーマンスを実施する。

⑥ アトリア （1事業2公演）

「アート&ミュージック」と銘打ち、川口市立アートギャラリー・アトリアとの協働で、アートと音楽をコラボレーションしたコンサート企画を実施する。

⑦ 公民館 （2事業4公演）

「公民館リレーコンサート」は、川口市内の郊外に位置する公民館を利用し、同一内容でのコンサートを企画し、巡回公演を実施する（全2回）。なお、出演者については、令和5年度にリリア催し広場でコンサートを実施した、伴 真純によるコンサートを予定している。

「川口少年少女ミュージカル団 ワークショップ」は、ミュージカルに興味のある小学生以上の参加者を対象に、演技、歌、ダンスといったミュージカルの基礎レッスンを体験し、参加者でミニミュージカルを成果発表として行う企画を実施する。

その他、小学生以上を対象とした競技かるたのワークショップを予定している。

(2) 特別文化推進事業の実施

本市の芸術文化活動の拠点としての存在を広くアピールし、幅広い世代に芸術文化の体験機会を提供することを目的に、教育・啓発プログラム等の事業をフレンディアで2事業を実施する。

「0歳児からのワンコイン・コンサート」はアルパ奏者・メゾソプラノとして活躍する池山由香と、リトミック講師で小学生への打楽器アンサンブルの指導者としても活躍するパーカッション奏者のすずきあゆみ、公務員から転身した音楽家という異色の経歴で話題のケーナ奏者、渡辺大輔による0歳児から参加できる親子を対象としたワンコイン・コンサートとして実施する。

「歌とポジティブ・オルガンによる クリスマス・コンサート」は、小型の持ち運び可能なオルガン「ポジティブ・オルガン」をフレンディアに持ち込み無料のコンサートを実施する。

(3) 広報・宣伝等

① 財団情報誌「リリアプレス」の発行

財団の主催する公演や活動内容を紹介する情報誌「リリアプレス」を隔月で16,000部発行し、行政機関・教育機関・自治会・企業等、約5,000箇所を送付し、事業の周知ならびにチケット販売促進や集客につなげる。

② 財団ホームページの開設

財団のホームページに催事情報を掲載し、財団主催・共催事業のチケットの予約をウェブ上で行えることで利用者の便宜を図る。また、随時SNSでの情報発信を行う。

③ アンケートの実施

文化事業について、広く市民からの意見を財団の運営に生かすべく、公演時にアンケート用紙を配布するとともに、財団ホームページからも回答できるよう実施する。

④ その他

広報かわぐちへの情報掲載、チラシの配布、音楽専門誌や新聞への広告宣伝の掲載等を行うなど積極的に情報発信し、事業をPRする。

(4) メンバーズ事業

財団主催・共催事業のチケットの優先予約や割引販売を行うことにより、顧客の定着化とチケットの販売促進を図る。

会員数：2,612人（令和6年2月末日）

なお、施設の休館に伴い、新規入会については受付を停止している。

(5) 共催事業の実施

市民等に対し、幅広い種々の舞台芸術作品の鑑賞の機会を提供するため、芸術文化団体等が埼玉県内の文化施設等で実施する公演に対し、その内容を検討のうえ、チケットを受託販売することを名義共催と位置付け文化振興を図る。

【予定される共催事業】

稲垣潤一 コンサート 2024（サンシティ越谷市民ホール）／清水ミチコ トーク&ライブ 2024（草加市文化会館） ほか

2 芸術文化に係る事業を推進するための付帯事業

施設利用者の便宜を図るため付帯事業を実施する。

① チケットセンターの設置

財団主催・共催事業のチケットの販売、ならびに他会場のチケット販売を受託する。

② 文化事業に伴う物品販売

3 助成・補助事業

① 文化活動支援事業（応募型）

リリアで利用実績のある川口市内の学校、文化団体に対し、文化活動を行う会場の施設利用料の一部を助成することにより地域文化の振興を図る。

② 補助事業

市内のアマチュア音楽団体が加盟している川口市民音楽協会の傘下の団体に対し、文化活動を行う会場の施設利用料の一部を助成することにより、地域の音楽文化の振興を図る。

4 公益比率の目標（公益認定の基準）

公益認定法第5条第8号にもとづき、令和6年度の公益比率を79.4%とし、公益財団法人としての役割を果たす。（別紙のとおり）

令和6年度 収支予算の事業区分経理の内訳書

公益目的事業比率 79.4%

公益目的事業 文化振興事業 自主公演・共催事業・文化活動助成・ミュージカル団育成
 地域振興事業 会議室・ホール等の貸出のうち、公益性があると認められたもの

収益目的事業 施設貸与等事業 駐車場・会議室・ホール等の貸出
 利用促進事業 イベントサービス・自動販売機・公衆電話利用料

経営収支

	公益目的事業				収益目的事業				法人	総合計
	文化振興事業	地域振興事業	共通	小計	施設貸与等事業	利用促進事業	共通	小計		
経常収益	160,200,000	2,407,000	0	162,607,000	1,184,000	999,000	0	2,183,000	42,115,000	206,905,000
経常費用	166,362,000	2,407,000	0	168,769,000	1,184,000	150,000	0	1,334,000	42,447,000	212,550,000
経常増減額	△ 6,162,000	0	0	△ 6,162,000	0	849,000	0	849,000	△ 332,000	△ 5,645,000
事業比率	78.3%	1.1%	0.0%	79.4%	0.5%	0.1%	0.0%	0.6%	20.0%	100.0%